

水田たより 9月号

令和8年9月2日

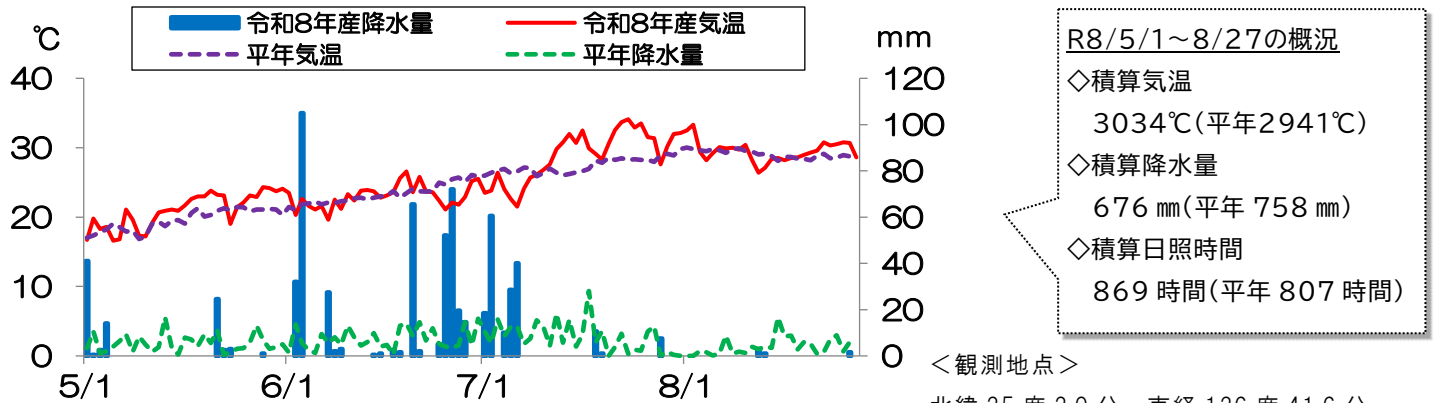
JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

水稲

気象状況とキヌヒカリの成熟期

7月中旬以降、平均気温が平年より高く推移しています。成熟期は生育基準田のキヌヒカリにおいて、前年より6日早くなっています。気象庁の1か月予報（8/27発表）では、今後1か月の気温が平年より高い確率が60%と予想されています。引き続き、熱中症に気をつけて作業してください。



◇キヌヒカリの成熟期

品種	移植日 (前年)	出穂期 (前年)	成熟期 (前年成熟期)
キヌヒカリ (いなべ市大安町)	5月18日 (5月20日)	7月27日 (8月2日)	8月29日 (9月4日)

水稲

来作に備え、秋起こしをしましょう！

秋起こしは、翌年の稲作の成功を左右する重要な作業です。土づくりが期待でき、ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）に有効です（水田たより令和7年9月号参照）。また、ほ場からの稲わらの流出を防ぐためにも重要です。**収穫後早め（できれば10月頃まで）に行いましょう。**

麦

生育不良田では土壌診断を行い、その結果に基づく土壌改良を実施しましょう！

麦類は土壌が酸性化していると生育障害を引き起こし、特に初期生育に影響を与えます。酸性条件下で発生する**スギナやタデ科をよく見かける場合は土壌が酸性化している可能性がありますので、土壌診断を行いましょう。**酸性化している場合は**土壌改良資材を施用して pH を 6.0～6.5 に調整しましょう。**1年での改善が難しい場合は複数年かけて pH を調整しましょう。

○土壌改良資材の例

苦土石灰、炭酸石灰（**土壌診断結果をもとに施用量は調節してください。**）

※土壌診断実施が難しい場合、施用量の目安は 100～200kg/10a です。

大豆

害虫に引き続き注意を！

今年の吸蜜性カメムシ類、ハスモンヨトウの発生はそれぞれ平年よりそれぞれ「多い」「やや多い」と予想されています（三重県病害虫防除所 8/25 付け令和8年度病害虫発生予報第5号）。吸蜜性カメムシ類、ハスモンヨトウの防除適期については、令和8年8月水田たより特集号を参照してください。

また、**シロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています**（三重県病害虫防除所 8/21 付け病害虫防除技術情報第5号）。ほ場を観察して初期防除に努めましょう。

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページでご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索